

伊勢崎警察署協議会議事録

(令和7年度第1回定例会議)

開催日時		令和7年6月26日(木) 午後3時から午後5時までの間	
開催場所		伊勢崎警察署 大会議室	
出席者	委員 (定数15人)	入澤会長 伊藤委員 本多委員 齋藤(裕)委員 小林委員 多賀谷委員 齋藤(宏)委員 水科委員 内田委員 常見委員	計10人
	警察	新井署長 吉田警務官 小暮会計官 深井刑事生活安全官 新井交通官 高澤警務課長 狩野留置管理課長 福島刑事第一課長 長岡生活安全課長 新島地域課長 柳岡警備課長	計11人
	その他		
議 事 の 概 要			
<p>1 挨拶概要</p> <p>(1) 署長挨拶</p> <p>本日はお忙しい中、伊勢崎警察署協議会定例会議に御出席いただき感謝申し上げます。 また平素から警察行政各般にわたり御理解御協力を賜り重ねて御礼申し上げます。 本日は第1回警察署協議会定例会議のため警察署協議会が設立された目的について簡単に説明させていただく。</p> <p>警察署協議会の始まりは、平成12年7月に当時の警察刷新会議が提言した警察刷新に関する緊急提言に基づいている。</p> <p>我々警察にとって、住民の声を直接聞く機会が少ないため、このような場は貴重であり、雨の日も風の日も管内をパトロールするお巡りさんの優しさと悪に対峙する刑事の強さという、その言葉を我々一人一人が胸に秘め、国民の皆さんの安心安全を守る活動をしていく所存である。</p> <p>(2) 会長挨拶</p> <p>警察署協議会の取組として、警察署協議会の設立趣旨を正しく理解し、それぞれが活動する機会において、啓発活動や地域住民目線に立った意見を出し合いながら、安心安全な伊勢崎警察署管内の実現に向けて協力していくこととなっている。</p> <p>この目的の実現に向け、活発な意見を出したいと思っている。</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 管内概況説明(説明者 署長等)</p> <p>ア 治安概況説明</p> <p>イ 刑法犯認知・検挙状況</p> <p>ウ 重要犯罪認知・検挙状況</p> <p>エ 窃盗犯認知・検挙状況</p> <p>オ 重要窃盗犯認知・検挙状況</p> <p>カ 特殊詐欺認知・検挙状況</p> <p>キ 少年犯罪検挙人員状況</p> <p>ク ストーカー・配偶者からの暴力事案対応状況</p> <p>ケ 児童虐待事案対応状況</p>			

コ 暴力団犯罪検挙人員状況
サ 来日外国人犯罪検挙人員状況
シ 110番通報受理状況
ス 警察安全相談受理状況
セ 警察署別治安状況
ソ 交通人身事故発生状況
タ 交通死亡事故状況

(2) 意見、要望等(○～委員、●～署長等)

○ 令和4年までの刑法犯認知件数の減少は、コロナ禍の経済活動の低迷によって窃盗犯の活動が静かだったということが考えられるが、令和5年から令和6年にかけての増加は大きい。コロナ禍が明けたからというだけの説明では、片付けることができないと思う。増加の要因は何か。〔質問〕

● 要因は様々挙げられるが、組織的窃盗の増加が顕著である。特に、太陽光発電等のケーブル、室外機、タイヤのホイール等の金属を狙った窃盗が、金属相場の高騰に伴い増加した。また、組織的な空き巣、忍び込み被害も増加している。金属盗対策法の制定や古物営業法の改正等により規則も強化されるので、抑止と検挙を図っていきたい。〔回答〕

○ 刑法犯認知件数等の伊勢崎署の数値は、各署と比較しても2番目になるが、管轄の広さによって、数が多くなるのは当然である。他署との比較資料として、人口比率に基づいて比較すると治安のバロメーターとして分かりやすいと思われる。〔意見〕

○ 最近、外国人が高速道路を逆走したり、小学生の登校する列に突っ込んだりということが発生している。逆走は、高齢者の例もあるが、これらの事件を防止するために警察での取組、または、これから取り組もうとしていることは何か。〔質問〕

● 委員から話のあった件は、三重県亀山市内で発生した新名神高速道路を逆走した事案、埼玉県三郷市内で小学生が下校する10人の列に衝突し逃げた事案が報じられている。この2件は、外国人が母国で取得した免許を外免切替え制度で日本の免許を取得した者の事案であり、この制度で免許を取得した者の交通事故発生率は定かではないが、交通安全教育や交通指導取締りを行い、交通法令の周知・指導を今後も継続的に行っていく。

外免切替えについては、警察庁でも法令の改正が検討されていると承知している。

〔回答〕

○ 令和7年に入って玉村町では、高齢者の特殊詐欺被害が、2件発生していると承知している。このような詐欺では、どのように犯人が対象者を選定しているのか、最近ではどのようなツールが使われているのか、SNS型投資詐欺、ロマンス詐欺とは何か教示願う。〔質問〕

● 警察では「被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振り込みその他の方法により、不特定多数の者から現金などをだまし取る犯罪」を特殊詐欺としているところであるが、「SNSを通じて対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて、指定した預貯金口座への振り込みその他の方法により金銭等をだまし取るもの」をSNS型投資・ロマンス詐欺としている。玉村町で発生し、報道された2件の詐欺のうち、1件は特殊詐欺、もう1件はSNS型ロマンス詐欺となる。

被害者の選定については、何らかの名簿を入手していると思われる。

犯人らは、SNSの他、出会い系サイトやマッチングアプリなどを使用することもある。〔回答〕

- +から始まる電話からかかってきたという話をよく耳にするが、+から始まる電話とはどのようなものか。〔質問〕
- +から始まる電話番号は、一般的には国際電話であり、国際電話からかかってくる理由がなければ、ほとんどが詐欺目的である可能性が高い。〔回答〕
- 特殊詐欺の事件捜査で警察が逮捕状や捜索差押許可状をSNS上で示すということはないが、そういう知識のない人からすればだまされてしまうため、広報活動が大切であり、警察署協議会のメンバーの方々が活動する際にも、周知が大事である。〔意見〕
- 日々、地域の治安を守っていただいている警察官の皆様には大変感謝している。現場出動時には、ストレスがかかることや悲惨な現場での対応もあるが、警察官のストレスケア、心の切り替えはどのように行っているのか。〔質問〕
- 業務によってはかなり大きなストレスになっており、メンタルヘルス対策は重要な課題である。職員が健康かつ意欲的に活動するためにも、職員のメンタルヘルスを良好に保つことは大事であり、組織の活性化、組織の人的基盤の強化につながる。
警察としても一般の企業と同様なワークライフバランスの施策を実施している。各種有給休暇制度の取得の際、一昔前は県外へ旅行する場合は、届け出が必要であったが大きく緩和され、縛られているという感覚がなくなり大きく改善された。
組織的なメンタル面のサポートとして、嘱託のカウンセラーにより、月に1回のメンタルヘルスカウンセリングが行われている。また、ピアサポート制度といい、各課で指名された相談員が、署員からの相談を受け付けている。外部相談機関の設置として、臨床心理士や弁護士に依頼し、専門的相談窓口を設置して、対応に当たっている。
〔回答〕
- 伊勢崎署内へFAXする際に警察署の電話番号へ電話して、切り替える必要があると聞いた。直通FAXがないのは前時代的ではないか。改善を願う。〔要望〕
- 予算都合で、配備できない状況である。取り扱う情報の機密の観点から、ネットワーク等も閉鎖的であることも要因である。〔回答〕

3 備考

第2回定例会議は令和7年9月に実施予定である。